

## 用語解説

### あ

---

#### ・エネルギー損失低減設備システム

電力などを動力に変換する際に失われるエネルギーを低減するように配慮された設備システムのこと。エネルギー環境負荷低減推進設備ともいう。

### か

---

#### ・仮庁舎

現役場庁舎の耐震改修工事に伴い、現役場庁舎での業務が不可能となる工事期間に、行政機能を一時的に移転する建物のこと。

#### ・元利均等償還

借金の返済方法の1つであり、毎回の返済額（元金と利息の合計額）が、定額になるように返済する方法のこと。

#### ・起債

一会計年度を超えて返済する借金（地方債）を自治体が発行すること。施設や道路の建設の財源などとして調達される。

#### ・躯体

柱・梁・床・壁などの建物の骨組みを構成している部材のこと。

#### ・構造耐震指標値（I s 値）

建物の耐震性能を表す指標として使われる係数のこと。昭和56年の建築基準法改正に伴って規定され、現行の建築基準法では、新築の場合に「I s 値 $\geq$ 0.6」であることを求めている。

「I s 値=0.6」は、中小規模地震に対して無被害、震度5強～6弱の大地震に対して被害が軽微・小被害に止まり、震度6強～7の強大地震に対して倒壊することなく人命を保護できる耐震性能を表している。なお、地震被災後も重要な機能保持が必要となる防災拠点（役場庁舎や病院など）については、「I s 値

≧0.9」であることを求めている。それ以外の防災拠点については、「I s 値≧0.75」であることを求めている。

#### ・ 構造部材

建物の構造的な要素を受け持つ骨組みを構成している基礎・床・柱・梁・壁などのこと。

### さ

---

#### ・ 市町村役場機能緊急保全事業

熊本地震により業務を行う場である庁舎（行政の中核拠点）が発災時においても有効に機能しなければならないことが再認識された。これにより総務省が、昭和 56 年の新耐震基準導入前に建設され、耐震化が未実施である市町村の庁舎の建替えを緊急に実施するよう促すために創設された事業のこと。

#### ・ 設計強度

建物を設計する際に、建物の強度を確保するために構造計算で採用するコンクリートや鋼材の強度の値のこと。

#### ・ 想定面積

島本町が算出した、建替えの際に新役場庁舎に要する面積のこと。

### た

---

#### ・ 耐震診断

建築基準法で定められた地震動に対して、既設の建物が耐えられるかどうかを判定すること。建物が現状保有する強度・施工状況・経過年数・老朽度などを考慮して判定する。

#### ・ 耐震構造

柱・梁・壁などの構造部材が持つ耐力によって、建物が倒れないように地震力に対して直接抵抗しようとする建物の構造のこと。

## ・耐震ブレース

耐震補強工法の1つであり、鉄骨や鋼材などで作られた補強材のこと。柱や梁などで四辺形に組まれた軸組に対角線上に設置することで、地震・風などの横から働く力に対して建物が変形するのを抑える役割を持つ。

## ・建物重要度係数

建物に要求される機能に応じて採用する安全率のこと。大地震動により建築物に生じる変形をさらに抑制し、建物強度を向上させるために構造設計を行う際に採用する数値である。なお、I s 値に置き換えると「建物重要度係数 1.0 = I s 値 0.6」、「建物重要度係数 1.25 = I s 値 0.75」、「建物重要度係数 1.5 = I s 値 0.9」と定められている。

## ・ダブルスキン構造

建物の省エネルギー対策として考案された建物仕様の1つであり、外壁を二重構成にするなど、屋内と屋外との相互間の熱の貫流量を低減させる建物構造のこと。空調設備の負荷を減らし、電気代や燃料代を削減することができる。

## ・町債発行利率

町が借金する際の利率のこと。

は

---

## ・バリアフリー

障害者・高齢者などが行動・生活する上でバリア（障壁）となるものを除去すること。段差などの物理的な障壁のほか、社会参加を困難にしている社会的・制度的・心理的なすべての障壁を除去するという意味となる。

## ・非構造部材

構造部材を除く全ての部材のこと。床仕上材・間仕切壁・天井材・建具・ガラス・各種設備配管類・設備機器などが含まれる。

## ・ピタコラム

耐震補強工法の1つであり、補強する既存柱に一定の間隔でアンカーを打設し、そこに鋼材とコンクリートで構成された耐震ブレースを取り付けること。建物内部に立ち入ることなく施工できるのが特徴である。

## ・防災拠点

地震などの大規模な災害が発生した場合に、被災地において救援・救護などの災害応急活動及び被災後の都市機能復興のための活動拠点となる施設のこと。主として活動の中核となる施設や建物を指すが、救援物資の配送拠点や仮置場として使用される公園・広場なども含まれる。

## ま

---

### ・免震構造

建物基礎の部分に特殊な免震装置を設置し、地震の横揺れを免震装置が吸収することにより、建物構造部材への地震力の負担を低減させる建物構造のこと。

## や

---

### ・ユニバーサルデザイン

障害の有無や、年齢・性別・文化・言語・国籍の違いなどにかかわらず、多様な人々が利用しやすいよう、都市や生活環境、施設、商品、情報などをあらかじめデザイン（設計）する考え方のこと。

## わ

---

### ・ワンストップサービス

複数の部署・庁舎・機関にまたがる行政手続きを一つの窓口で完結できる環境のこと。

## アルファベット

---

### ・CFT造

コンクリート充填鋼管構造のこと。鋼管柱の空洞の中にコンクリートを充填す

るというシンプルな構造方式である。鋼材とコンクリートを組み合わせた複合構造の一種であり、鉄筋や型枠の組み立てを必要としないシンプルな構成が特徴で、強度・剛性・変形性能などの面でも優れているため、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造に次ぐ第四の構造として近年注目を浴びている。

- ・ **PCアウトフレーム**

耐震補強工法の1つであり、既存建物の外側にプレキャストコンクリートで構成された架構を設置し、既存建物の耐震性能の補強を行うこと。

- ・ **RC造**

鉄筋コンクリート造のこと。柱や梁などの骨組に木製の板材を用いて組み上げた鑄型(型枠という)の中に鋼製の棒(鉄筋)を設置した上で、そこに流動性のあるコンクリートを打ち込んで骨組みを構築する構造方式。

- ・ **S造**

鉄骨造のこと。柱や梁などの骨組に鉄骨鋼材を使用して構築する構造方式。